

## 1 津軽海峡冬景色歌謡碑

※竜飛崎近くにある、津軽海峡・冬景色の歌碑(2番のみ)

石川さゆりの「津軽海峡冬景色」で広く全国に知れ渡るようになった龍飛岬。その曲のヒットを記念するとともに、1996年に旧三厩村（現在は外ヶ浜町）の村長の発案により寄付金によって、新しい観光の名所とすべく建てられた碑である。正面の波を模したオブジェの赤いボタンを押すと「ごらんあれが竜飛岬北のはずれと…」と2番のフレーズが流れる。そこからの景色も良く歌詞の情景も味わえ、観光名所となっている。メロディは、波音や潮風に負けないよう大音量となっているので注意。



↑施工業者は、有限会社 堤石材工業

## 2 津軽海峡冬景色歌謡碑

※青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸横にある、津軽海峡・冬景色歌碑

青森県青森市、青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸が係留されるふ頭にある、もう一つの「津軽海峡冬景色歌謡碑」です。1995年7月16日建立。石種：ブルーパール（歌詞板石）。



↑八甲田丸前の津軽海峡冬景色歌謡碑のセンサーが故障しており、只今曲が流れなくなっており、原因を調査中との事。

↑こちらも、施工業者は、有限会社 堤石材工業

## 3 太宰治文学碑（竜飛岬）

**太宰治文学碑（竜飛岬）概要：**竜飛岬の麓（青森県東津軽郡外ヶ浜町三厩龍浜）に位置している太宰治文学碑には太宰治の代表作の1つで津軽半島舞台にした小説「津軽」の中の一文が刻まれています。



1975年10月9日 建立日。  
碑文は「1975年津軽」の一部で、  
蜃気楼同人・平山四十三の遺志に  
より遺族が建築した

「ここは、本州の袋小路だ。読者も銘肌せよ。諸君が北に向つて歩いてゐる時、その路をどこまでも、さかのぼり、さかのぼり行けば、必ずこの外ヶ浜街道に到り、路がいよいよ狭くなり、さらにさかのぼれば、すぼりとこの鶏小舎に似た不思議な世界に落ち込み、そこに於いて諸君の路は全く尽きるのである。「津軽」より」とあります。

